

金沢市地域福祉計画2023

みんなで支え合う地域社会をめざして

【概要版】

【計画期間】 2023年度 ▶ 2027年度



計画の目標

金沢の豊かな福祉コミュニティ土壌を基盤に、多様な支え合い体制を構築する

地域において、市民一人ひとりが居場所や役割を持ち、かけがえのない人間として尊重された日常生活を送ることは、希望や喜びを感じて心豊かに生きるための大切な要素です。

金沢市には、地域における豊かなコミュニティ土壌が古くから培われてきた歴史があります。その一方で、近年では、ライフサイクルの変化などにより、住民の地域への帰属意識の低下が進んでおり、地域コミュニティが弱体化している側面も見られます。

また、地域における課題についても、一つの世帯において相互に関連し合った複数の課題が存在するなど、ケースの複雑化・多様化が見られ、特定の分野からの支援だけでは対応できない場合も増えています。

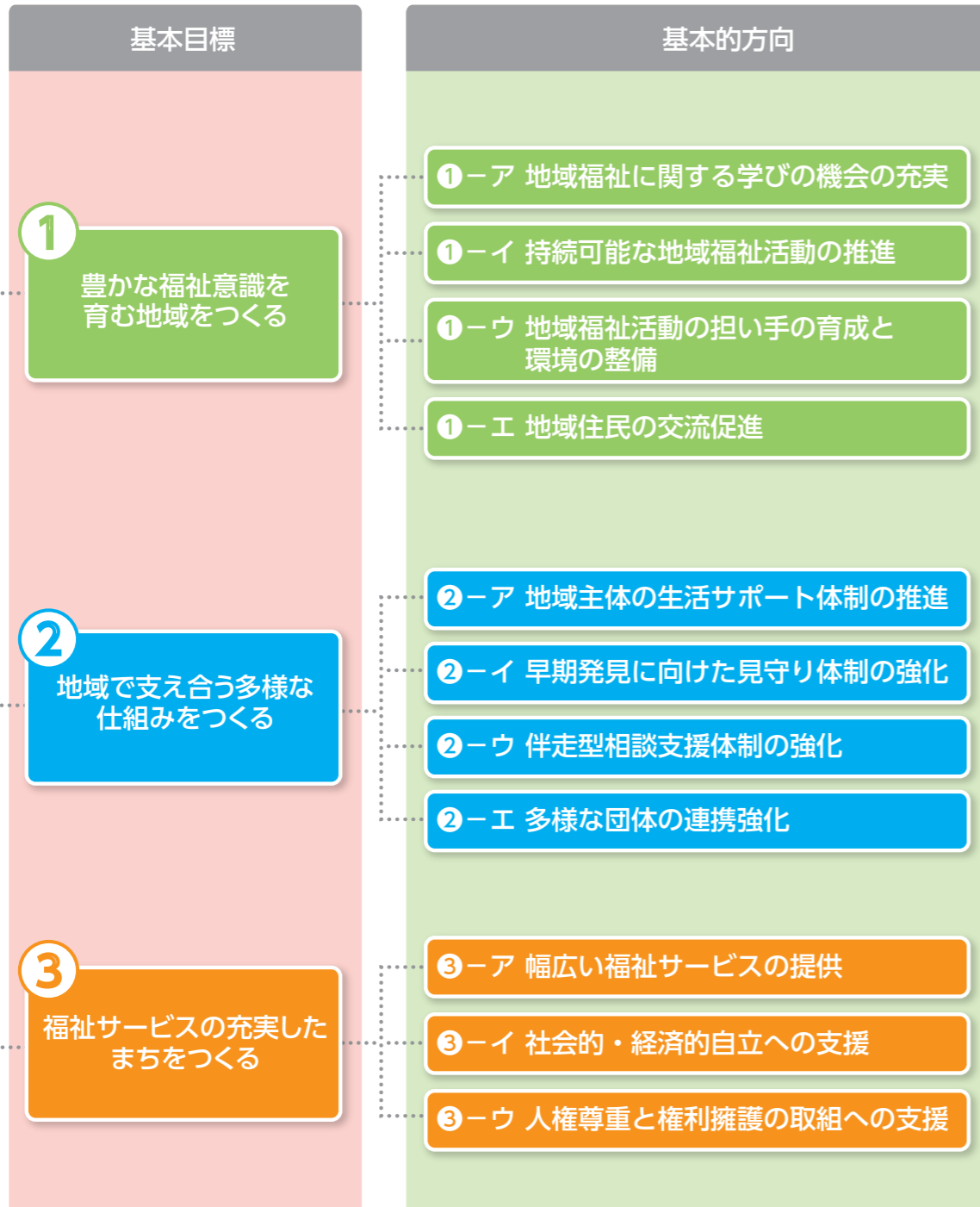
このような多様化する新たなケースにも対応するため、古くから培われてきた福祉コミュニティの強みを再認識し、これを基盤として、多様な団体が連携し、分野を問わずに支え合える体制を整備する必要があります。

本計画では、地域と行政が協働して地域全体で支え合う体制を推進することで、孤立や社会的排除のない、誰もが安心して暮らしやすい地域共生社会の実現を目指します。

金 沢 市

計画の体系

金沢の豊かな福祉コミュニティ土壌を基盤に、多様な支え合い体制を構築する



金沢市福祉健康局福祉政策課

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号 TEL 076-220-2278 FAX 076-260-7192
E-mail fukusei@city.kanazawa.lg.jp

金沢市地域福祉計画2023の本編は、金沢市ホームページからダウンロードできます。
(<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/fukushiseisakuka/gyomuannai/5/1/1/7192.html>)

解決すべき主な課題

- 超高齢・人口減少社会の進行に伴う、見守りによる援助を求める人の増加
- 地域コミュニティの弱体化に伴う、課題を抱える世帯の孤立化
- 地域生活課題の多様化・複合化に伴う、解決困難なケースの増加
- 地域福祉活動の担い手不足

課題解決のための施策の展開

基本目標① 豊かな福祉意識を育む地域をつくる

(ア) 地域福祉に関する学びの機会の充実

ソーシャルメディア等も活用しながら地域福祉活動の情報を積極的に発信するとともに、市民の福祉への理解と関心を高めるため、家庭や地域、学校における福祉教育を推進します。

(イ) 持続可能な地域福祉活動の推進

ICT活用の推進や、コミュニティ活動の支援、地域住民に対しての情報提供などを行い、状況やニーズに応じた地域福祉活動が実践できる組織へ変革します。

(ウ) 地域福祉活動の担い手の育成と環境の整備

地域福祉の担い手を育成し、地域における様々な活動での活躍を支援します。

(エ) 地域住民の交流促進

地域での支え合い・協力関係の構築を進めるため、地域の身近な居場所づくりや、子育てを応援する地域づくりを推進します。

【主な取組】

○ ソーシャルメディアを使った地域福祉活動紹介等の情報発信

地域で取り組む様々な福祉活動をソーシャルメディアで発信します。

○ 小型タグ、感知器及びスマートフォンアプリを活用した認知症高齢者地域見守りネットワークの構築

徘徊行動が著しい認知症の人の見守りのため、小型タグ、感知器及びスマートフォンアプリを活用し、ボランティアと連携した見守りネットワークを構築します。

○ 社会的に孤立している人の参加支援プランの作成

社会的に孤立している人の社会参加を支援するプランを作成し、支援を必要とする人を支援する側へとつなげます。

○ 地域サロンや子育てサロンの開催

高齢者の交流の場である地域サロンや、乳幼児とその親が集える場である子育てサロンを開催し、地域住民の交流を促進します。

基本目標② 地域で支え合う多様な仕組みをつくる

(ア) 地域主体の生活サポート体制の推進

地域生活課題を地域主体のサポートで解決できる体制づくりを行い、課題を抱える人が継続的に社会とつながることができるよう支援します。

(イ) 早期発見に向けた見守り体制の強化

地域のネットワークの充実や、アウトリーチ等の手法を通じて、地域全体で見守る体制を強化します。

(ウ) 伴走型相談支援体制の強化

専門機関等の連携により、複合的課題にも分野を問わず対応できる支援体制を強化します。

(エ) 多様な団体の連携強化

地域を取り巻く様々な担い手の連携強化や、地域生活課題の共有と解決力の向上を支援します。

【主な取組】

○ 地域福祉支援コーディネーターの配置

地域生活課題を解決するスタッフとして、地区社会福祉協議会に地域福祉支援コーディネーターを配置します。

○ 地域の身近な福祉相談窓口の設置

地区社会福祉協議会に福祉相談窓口を設置し、市民の福祉相談を包括的に受け付けます。

○ 支え合いソーシャルワーカーの配置

世帯の課題解決に向けた支援計画の作成や、各相談支援機関の連携調整役を担う社会福祉士を市内全8ブロックに配置します。

基本目標③ 福祉サービスの充実したまちをつくる

(ア) 幅広い福祉サービスの提供

福祉サービスの充実を図っていくとともに、生活困窮者、自殺、ひきこもり、虐待などに関する対策や支援を推進します。

(イ) 社会的・経済的自立への支援

社会的孤立・経済的困窮の状態からの脱却や、障害のある人の就労を支援します。

(ウ) 人権尊重と権利擁護の取組への支援

障害のある人への差別の解消など、人権問題への理解を深めるほか、判断能力が十分でない人の成年後見制度の利用を促進します。

【主な取組】

○ 生活困窮者自立相談支援事業の相談窓口の設置

金沢自立生活サポートセンターにおいて、仕事や生活に関して課題を抱える人の自立を支援するため、専門の支援員による相談窓口を設置します。

○ 就労支援事業所へのアドバイザーの派遣

商品開発や販促活動等を支援するため、就労支援事業所に生産活動に関する各分野の専門人材を派遣します。

○ 成年後見制度の利用促進

地域連携ネットワークを整備・拡充し、成年後見制度が必要な人に対して適切な市長申立を実施します。